

KYOWA REPORT

第121期 事業報告書 2018.4.1 — 2019.3.31



株主のみなさまへ

平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当企業グループを取り巻く環境は、自動車業界の産業構造の変革に加え、人々の生活も多様化しております。このような時代の変化をチャンスととらえ、当企業グループ丸となって高付加価値商品の提供や、新しい分野・業種の商品開発を進めることで、株主のみなさまのご期待に応えてまいりたいと考えております。今後も変わらぬご指導、ご鞭撻を賜りますよう、お願い申し上げます。

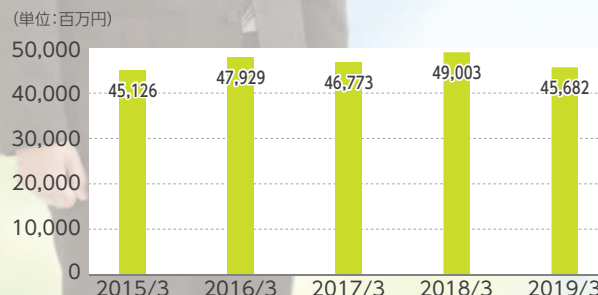


2019年6月

取締役社長
花井 幹雄

連結業績ハイライト

売上高



Q1 2019年3月期の業績と中期経営計画「2020年ビジョン」の進捗状況を教えてください。

2019年3月期における日本経済は、前半では雇用や所得環境の改善に伴い個人消費が持ち直すなど緩やかな回復基調で推移しましたが、期後半からは中国経済の減速があり、企業業績に与える影響が鮮明化しました。

このような中、当企業グループは、主力事業である車両用の中国向け売上が不振であったほか、住宅・住設用で壁装事業撤退の影響もあり、連結売上高は456億8千2百万円(前年同期比6.8%減)となりました。利益面につきましては、売上の減少や原材料・燃料価格の値上がりに加え、中国子会社での環境対応後の生産正常化遅れなどにより、連結経常利益は20億4千3百万円(前期連結経常利益33億4千9百万円)、親会社株主に帰属する当期純利益は14億9千8百万円(前期親会社株主に帰属する当期純利益23億9千9百万円)となりました。

中期経営計画「2020年ビジョン」においては、

フィルム製品の国内外車両メーカーへの採用が進むなど、既に拡販効果は始めています。しかしながら、目標達成には当初の想定以上に時間がかかる見通しとなったため、ビジョン目標達成時期の再検討を実施いたします。

Q2 2020年3月期の重点施策を教えてください。

当企業グループは、安全・品質・人財などの企業基盤の強化を図り、自動車産業の構造変化や生活環境の多様化に柔軟に対応した商品開発や提供を進めます。自動車産業においてはCASE※¹やMaaS※²といった新しい技術やニーズが生まれており、当企業グループは快適な空間を提案する内外装表皮材の創出を通じてニーズの変化に対応いたします。また、環境や健康をキーワードとして、時代のトレンドを先取りした商品の開発・提供も進めます。このような環境の変化に迅速に対応するために、新商品の開発期間の短縮や、柔軟な生産体制の構築にも努めます。また、これまで以上に、当企業グループの連携を強く、

主力の車両分野をはじめ住宅設備・生活資材分野の強化を図ります。

※1 CASE: Connected(繋がる)、Autonomous(自動運転)、Shared(共有)、Electric(電動化)の頭文字を取った造語。自動車産業の変革を象徴するキーワード。

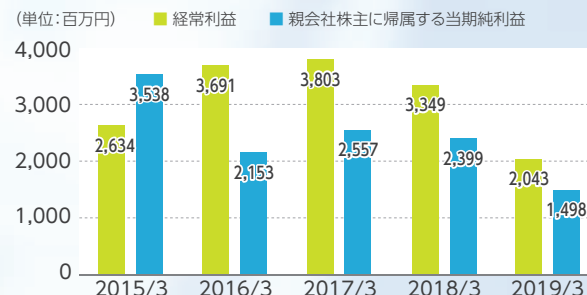
※2 MaaS: Mobility as a Serviceの略。マイカー以外の移動手段を1つのサービスとしてとらえる考え方。個人の移動を、バス、電車、レンタカー、タクシー、レンタサイクル、飛行機などを組み合わせで最適化し、利用者の利便性を高めるサービス。

Q3 株主のみなさまへのメッセージをお願いします。

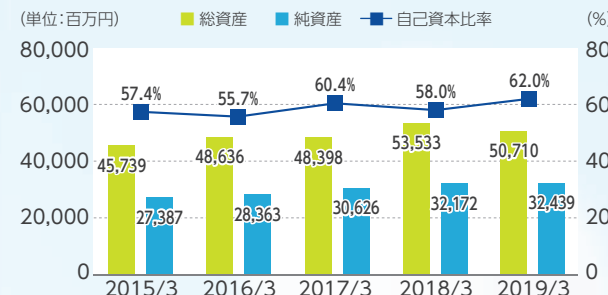
お客さまが自分で運転を楽しむだけでなく、車を通じてさまざまなサービスを楽しむ時代になり、車の使われ方が大きく変化してきています。こうした変化の中でも、経営理念に基づき「安全・安心・快適」な商品を提供し、お客さまのニーズに応えたモノづくりに努めてまいります。

株主のみなさまにおかれましては、引き続き変わらぬご支援とご指導を賜りますよう、お願い申し上げます。

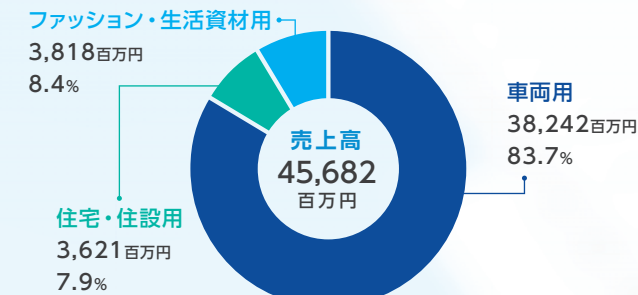
経常利益／親会社株主に帰属する当期純利益



総資産／純資産／自己資本比率



用途別売上高(2019年3月期)



先進的な内外装デザインで 新たな需要を創造

共和レザーグループは、合成皮革表皮材と加飾フィルムにより、自動車内外装のトータルコーディネートが可能にする多彩な商品を展開しています。高級感と機能性を兼ね備え、先進性の高いデザインを実現する当企業グループの商品をご紹介します。

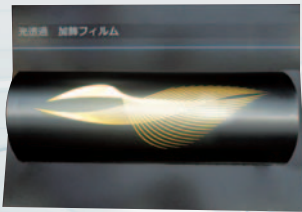
内装用加飾フィルム

夜間、裏側から発光ダイオード(LED)照明を当てると、狙ったところに光が透過し流線型などの模様が現れる内装用の加飾フィルムを新たに開発。

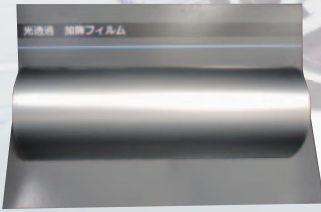
NEW 新意匠で新たな需要を開拓

今回開発したフィルムは、光の透過によりさまざまな表現ができることが先進的なデザインとの評価を頂いており、中国メーカーに採用されました。

今後EV車などへの採用も期待されます。



透過により現れる模様



光を透過していない状態

外装用加飾フィルム

従来のデザインに凹凸表現を付与できる新しい加飾表現が可能。更に塗装に替わる環境にやさしい表皮として期待されている。

NEW 日本を代表するハイブリッド車のルーフ材に採用

日本を代表するハイブリッド車に幾何学調意匠のルーフ素材が採用されました。このルーフ素材は、塗装ベースのツートンカラーと違った新たな意匠表現をお客さまに感じてもらえます。



ツートンルーフでドライバーのみなさまに新しい楽しさをお届けします。



外装用加飾フィルム
フィルム営業部
野澤 健志

2015年に初採用されたルーフ用加飾フィルムから更に貼り込み性を向上させ、新たに2つのモデルに採用されました。意匠はフィルムならではの凹凸表現をお客さまと一緒に苦労して作り上げました。

快適な車内空間を演出する内装表皮

当社の座席用・内装用素材は、高い耐久性と防汚性を維持するとともに、軽量化にも貢献します。

NEW SUVにふさわしいイメージで ボリューム感のあるシート素材を開発

当社が新たに開発したラミネーションエンボス*は、ウレタン合成表皮で従来表現できなかった凹凸を実現。ボリューム感とソフトな座り心地を提供し、オフロードでも快適な車内空間を演出しています。



*合成皮革にウレタンフォームを貼り合わせたシートに凹凸のある加工を施したもの

光を透過する内装用加飾フィルムを国内メーカーにも積極的に提案します。



内装用加飾フィルム
フィルム営業部
小倉 皓介

今回採用されたフィルムは、柄印刷の重なりを工夫して、光の透過をコントロールしたデザインがポイントです。車の内装としては斬新なデザイン表現が可能なフィルムをお客さまに積極的に売り込んでいきます。

合成皮革表皮材の 新たなニーズを開拓する取り組み

共和レザーグループでは、車両用の合成皮革表皮材を自動車以外の分野に展開する新たなニーズの開拓を進めています。また、一般消費者向けの商品に当社の合成皮革が採用されることで、当社のブランド力の向上にも努めています。今回は当社の取り組みの一部をご紹介します。

アウトドアブランド・メーカーの ライダースジャケットに当社製品が初採用

当社の合成皮革表皮材が、アウトドアブランド「スノーピーク」のライダースジャケットに採用されました。自動車分野で培った耐久性や難燃性が高いなどの特長を持ち、更に本革と比較し重量が半分という軽量性が高く評価されました。



銀座マギーとのコラボレーション企画

浜松駅ビルメイワンの開店30周年の記念コラボレーションとして、「銀座マギー」が当社の素材を使い製作した2種類のバッグを期間限定で販売しました。車両用の合成皮革表皮材をファッションに使用するという新しいカタチを発信すると同時に、アパレル業界でアニマルフリーとしても注目される合成皮革をPRしました。更に第2弾の企画として、当社の素材に銀座マギーのオリジナルデザインをプリントし、新たな価値を生み出したアップサイクル品が8月より全国45店舗で発売されます。



銀座マギー浜松メイワン店サインージ

杉野服飾大学産学共同新プロジェクトスタート!

昨年に続き、2年目となる東京都の「杉野服飾大学」3年生との産学共同プロジェクトが始動しています。

4月、当社が扱う素材の講義を行い、合成皮革に対する理解を深めました。今年はアクティブに働く人のための「Good Luck Worker!」をテーマに掲げました。1年をかけて軽くて丈夫な素材の特長を活かし、バッグのデザインを作成していきます。素材提供を通じて、次世代のデザイナー育成を支援しています。授業の様子は随時当社ホームページでも紹介していく予定です。是非ご覧ください。



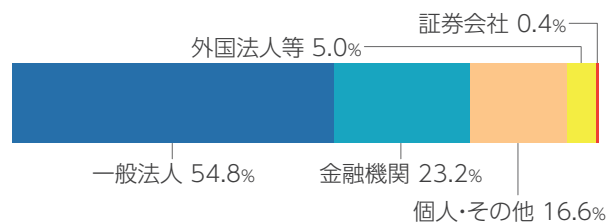
会社の概況

株式の状況 (2019年3月31日現在)

株式の総数

発行可能株式総数	80,000,000株
発行済株式総数	24,500,000株
株主数	4,173名

所有者別株式分布状況



大株主 (上位10名)

(単位:千株)

株主名	持株数
トヨタ自動車株式会社	8,360
豊田通商株式会社	1,554
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,435
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,377
林テレンプホールディングス株式会社	1,041
株式会社りそな銀行	862
KISCO株式会社	765
住友化学株式会社	400
DFA INTL SMALL CAP VALUE PORTFOLIO	377
三木産業株式会社	302

会社の概要 (2019年3月31日現在)

設立	1935年8月
本社	静岡県浜松市南区東町1876番地
資本金	18億1,000万円
従業員数	719名(ほか臨時従業員135名)
主な事業内容	下記製品の製造、加工ならびに販売
車両用	内装用合成皮革、内装用成形複合材 内外装用加飾フィルム
住宅・住設用	鋼板・合板用化粧フィルム
ファッション・生活資材用	家具用合成皮革、靴履物用合成皮革 雑貨用合成皮革

事業所 (2019年3月31日現在)

本社	技術センター	QAセンター
東京営業所	阪神営業所	天竜第1工場
天竜第2工場	新城工場	浅羽工場

役員 (2019年6月21日現在)

取締役社長 花井 幹雄	取締役 稲垣 忠彦
取締役副社長 山崎 浩	取締役 天野 利紀
専務取締役 増田 隆昭	取締役 新井 民夫
専務取締役 藤坂 和義	
取締役 中村 直義	常勤監査役 増田 陽司
取締役 前嶋 則卓	監査役 大井 祐一
取締役 阿部 恵造	監査役 田畑 隆久
取締役 河島 竜太	監査役 細江 英昭

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	6月
配当金受領株主確定日	期末配当金: 3月31日 中間配当金: 9月30日
1単元の株式の数	100株
株主名簿管理人および 特別口座口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 電話 0120-232-711 (通話料無料) 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
公告掲載方法	電子公告により、下記当社ホームページに掲載いたします。 https://www.kyowale.co.jp/ ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じた時には、 日本経済新聞に公告いたします。
上場証券取引所	東京証券取引所市場第一部

- (ご注意) 1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取り扱いいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

市区町村から通知されたマイナンバーは、株式の税務関係の手続で必要となります。
このため、株主さまから、お取引の証券会社等へマイナンバーをお届出いただく必要がございます。

【株式関係業務におけるマイナンバーの利用】

法令に定められたとおり、支払調書には株主さまのマイナンバーを記載し、税務署へ提出いたします。

【主な支払調書】

- *配当金に関する支払調書
- *単元未満株式の買取請求など株式の譲渡取引に関する支払調書

【マイナンバーのお届出に関するお問い合わせ先】

- 証券口座にて株式を管理されている株主さま
▶▶ お取引の証券会社までお問い合わせください。
- 証券会社とのお取引がない株主さま
▶▶ 下記フリーダイヤルまでお問い合わせください。
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 電話(通話料無料)0120-232-711

浜松市の魅力を是非ご覧ください



当社ホームページでは浜松市紹介の特設ページ「実はあなたのそばにある」を掲載しております。是非ご覧ください。

<https://www.kyowale.co.jp>



TOPページの
このイラストを
クリック

